

信州大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌代謝内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2022年3月1日

「高血圧患者において糖尿病および肥満がレニン-アンジオテンシン-アルドステロン系に与える影響」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5446
研究課題名	高血圧患者において糖尿病および肥満がレニン-アンジオテンシン-アルドステロン系に与える影響
所属(診療科等)	糖尿病・内分泌代謝内科
研究責任者(職名)	宮本晃男(医師)
研究実施期間	研究機関の長による許可日～2027年1月31日
研究の意義、目的	糖尿病や肥満を合併した高血圧患者のレニン-アンジオテンシン-アルドステロン系の状態と薬剤の降圧効果の関係を明らかにすることを目的とした研究で、今後の高血圧治療に貢献すると考えられます。
対象となる方	2021年1月1日から2022年1月31日の期間に共同研究機関で高血圧症について医療を受けられた方
利用する診療記録	年齢、性別、身長、体重、血圧、既往歴、使用薬剤、血液検査所見など
他機関から試料・情報の提供を受ける方法	郵送、電子的配信により提供を受けます
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、糖尿病や肥満におけるレニン-アンジオテンシン-アルドステロン系の状態と、薬剤の降圧効果の関係性について検討します。
共同研究機関名(研究責任者氏名)	長野赤十字病院(責任者:宮本真吾)、飯田市立病院(責任者:宮本晃男)、相澤病院(責任者:宮本高秀)、宮本内科クリニック(責任者:宮本高秀)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学 研究責任者:宮本晃男
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 宮本晃男(糖尿病・内分泌代謝内科 医師) 電話:0263-37-2686

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。